

令和元年度 第14回教育研究評議会議事要録

日時 令和2年3月25日（水）14:00～15:40
場所 事務局第1会議室，工学部：E1棟応接室(VCS)，農学部：応接室(VCS)
出席者 三村学長，尾崎理事，太田理事，岩切理事，鳥羽田理事，佐川副学長，折山副学長，内田人文社会科学部長，荒川教育学部長，田内理学部長，増澤工学部長，戸嶋農学部長，木村図書館長，栗原全学教育機構長，小林評議員，田中評議員，蓮井評議員，小野寺評議員，瀧澤評議員，岡田評議員，金評議員，乾評議員，梅比良評議員，大久保評議員，福輿評議員

議 題

審議事項

- 1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への新年度の学事関係対応について
- 2 人文社会科学研究科の改組計画について
- 3 教育学研究科の改組計画について
- 4 教員の休職について
- 5 教育研究評議会の評議員について
- 6 その他

報告事項

- 1 新執行部の担当業務について
- 2 令和2年度茨城大学予算について
- 3 茨城大学大学院学則の一部改正について
- 4 地球・地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション細則等の一部改正について
- 5 その他

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への新年度の学事関係対応について
学長から，審議願いたい旨の提案があり，さらに，太田理事，図書館長，学務部長および学務課長補佐から資料1に基づき説明があった。学年暦は，P2～P5の資料に基づき，4月30日を授業開始とすることが承認された。図書館の開館については，P11の資料に基づき承認された。P8～P10の学年暦決定後の取組については評議会に出た多数の意見を踏まえ検討し，中身を充実させ対応をしていくこととなった。

【主な意見】

- ・100分授業等も致し方ないとは思いますが，それによって幼稚園のお迎え等が難しくなる等，教員の私生活への配慮はどのようにすべきか。
- ・これを機ととらえ，遠隔授業を積極的に取り入れるべきである。学生のネット環境は一律ではないため，授業をネット配信する遠隔授業とネット環境が整っていない学生は教室に来るといふ，ハイブリッド形式で対応するのが良いのではないか。

- ・クラス規模も多岐にわたるため、クラスサイズごとのガイドラインを作成すべきではないか。
- ・授業開始が遅くなるにあたり、帰省等を行う学生も増えると考えられる。発熱等の症状がないか等の確認とともに、各自が感染しない行動をとるよう、大学から周知する必要があるのではないか。
- ・授業開始後は、発熱や海外渡航歴等、大学に来てはいけない基準を設けて、明示すべきではないか。

2 人文社会科学部研究科の改組計画について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、人文社会科学部長から資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

3 教育学研究科の改組計画について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、教育学部長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

4 教員の休職について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、全学教育機構長から資料4に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

5 教育研究評議会の評議員について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、資料5に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

6 その他

無し

II 報告事項

1 新執行部の担当業務について

太田理事から、資料6に基づき報告があった。

2 令和2年度茨城大学予算について

財務課長から、資料7に基づき報告があった。

3 茨城大学大学院学則の一部改正について

総務課長から、資料8に基づき報告があった。

4 地球・地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション細則等の一部改正について

桑原準備室長、伊藤準備室副室長から、資料9に基づき報告があった。

- 5 その他
無し

Ⅲ 退任挨拶
退任する委員等から挨拶があった

Ⅳ 監事からの意見

- ・新型コロナウイルス対策において、決められた方針の徹底的な実施をお願いしたい。少しくらい不満があったとしても、守らせることが大切である。
- ・新年度の学事関係対応について、大きなスケジュール変更をせざるを得ない状況であり、関係教職員の疲弊が懸念される。教職員の健康面にも配慮しながら、この難しい時期を大学全体で協力して乗り切っていただきたい。

Ⅳ その他

机上配布の紹介

冊子「茨城大学コミットメントがみえる。」

チラシ「茨城大学ダイバーシティ推進室NEWS LETTER」

次回 教育研究評議会開催

4月16日（木） 14時00分から